

★自治体の財政状況を示す新たな指針が11月末頃公表されるとの情報が…、八潮市の財政状況にもっと感心を！

一般質問

行財政改革プランについて

Q 市長車の運転業務の民間委託がプランで検討され、20年度には対応策を決定とありますが、現在の進捗状況は？

A 現時点では時差通勤制度(フレックスタイム)の活用、タクシー・ハイヤー等の利用も考えている。

○和宏の考え・提言

現在、市長車は黒塗りの高級車(リース)と低公害車を利用しています。ここで課題なのは運転手の人件費と考えます。答弁では、タクシーやハイヤーだと突発的な業務が発生した場合の対応が難しいとの事ですが、「突発的な業務」って何?、年に何回あるの?と思います。市長の公務の大半は事前に決定している場合が多いと思います。厳しい財政状況を考えれば、「運転手」を待機させて「公務」する時代ではないと思いますね。

トップ(市長)自ら、「姿勢」を示さなければ何も変わらないのでは…?

Q 福祉総合案内窓口(ワンストップサービス)の実施について

A 現状では庁舎の使い勝手や人員配置など大きな問題があり、福祉部内での検討にとどまっています。市民サービス向上の観点からも有効な方策であると認識していますので先進自治体の取組み状況の視察など、設置にむけて調査、研究したい。

○和宏の考え・提言

先日も近所に引越してきた方から、役所に手続きに行った時、1階と2階を何度も往復、無駄が多かった、もつと関連する課が連携すれば効率的になるのでは?

★議長、副議長が交代(毎回同じ)身上の都合を理由に…個人的には議長職は最低2年務めるべきだと思えます。議会改革等、1年交代では中々進みません。

とお話がありました。確かに言われてみれば、現状の庁舎内部の配置はどうか?と感じます。

また、総合窓口を実施することによって、行政の課題である縦割りの意識から各課の連携の重要性を再確認する目的もあります。

本来なら、各種手続きはワンフロア(1階ですべて)済むことが望ましいと考えます。職員の話では、現在の配置は以前から変わっていないとの事。カウンターの高さを変える事よりも、抜本的に各部の配置換えを検討する時期では…?

教育について

Q 今年度中にも学習指導要領の改定が予定されており、その中で、小学校での英語活動の導入がほぼ決定しました。今後の教育委員会としての取り組みについて。

A 平成22年度から、小学校3年生以上の児童について、年間35時間の英語活動を全市一斉に実施する予定。

Q 中学生社会体験事業(3Days)について県の教育局では今後、現在の3日間から5日間へ拡大する方針を固めました。本市の今後の考えは?

A 中学生社会体験チャレンジ事業担当者会議から、子どもたちの成長を図るため、日数の増加が有効的であるとの意見も出されており、教育委員会としても3日間の日数を段階的に増やしていくことについて、各学校や受け入れ事業所・企業等とも協議していく考え。

○和宏の考え・提言

現在も市内の小学校では、英語活動が実施されていますが、各学校での取り組み時間、内容に差異があることは課題だと

考えます。指導要領が改定され、本格的に導入される「英語活動」。その時に各自治体の教育委員会の姿勢、取り組みが大切になってきます。ただ単に英語活動を始めるのではなく、「目的」「教材開発」が重要になります。今後、教育委員会として財政部局に対し、財政支援を求めるように要望しました。

社会体験活動について、現行の3日間で、体験を通して、「働くことの大切さ・大変さ」等、大きな収穫のある事業であると私は感じます。でも毎年予算が減少…。「二ト」「フリーター」が増加し、社会問題となつてきている時代ですので、この事業はもつと積極的に展開、市がバックアップする事業だと私は思います。

災害時要支援者リスト作成について

Q 過去の質問でもおこなった災害時要支援者リストの作成について、本市も早急に作成する必要があると思いますが、現状は?

A まだ作成していない。

○和宏の考え・提言

個人情報観点など課題も多いことは理解していますが、要は「やる気」の問題です!

近年、地震等が発生し、その時も「災害弱者」要支援者の把握が、自治体間で、大きな差があり、問題となりました。

地方分権と言われる時代、「他の自治体が実施していないから」とか、「県からの指示がまだ…」ではなく、積極的に取り組んで、担当課はもちろん、他の課も協力して早急にリストを作成するように「強く」要望しました。



○朝田議員から聞いていた議場に新設された「高級タイマー」

質問時間を守ることも大切だと思いましたが、八潮市は厳しい財政状況を考えれば大切なお金(税金)をもつと有効に使う考えはなかったのか?と思いました。誰が要望したのか知りませんが…。

朝田議員からあのタイマーを使用するのは、年間約12日程度と聞きました。「もったいない!」

○災害時要支援者リストの作成は「一日も早く作成してほしいと思います。人々のコミュニケーションが低下しているといわれる時代だからこそ、大切な事ではないでしょうか。



おいそがしい中、ありがとうございました